～町村議会広報研究会～

住民へ伝わる議会だよりへ

7月5日、千葉県自治会館にて町村議会広報研修会が開催され、当町の広報委員が参加いたしました。講師には議会広報サポーター 芳野政明氏をお迎えして、講義が行われました。 第1部は、住民に読まれて伝わり、議会の見える化へ向けた議会広報の基本と編集をテーマに、住民が議会をどの様に感じているのか等、信頼性のあるデータを参考にして現状を把握し、知らせる工夫と意見や要望を聴く工夫に取り組み、住民と議会の信頼関係をつくって行く事が大切であるという事で説明をいただきました。

第２部では、広報クリニックと題し、他町村の議会広報に対して講師が診断を行い、取り上げられた問題点に対しての具体的な対策をわかりやすく学ぶ事が出来ました。
今回の講義内容を参考にしながら、今後、住民との信頼関係づくりに議会だよりを活用していける様に、紙面改革に努めてまいります。

～山武郡市議会議員研修会～

防災・減災と議員の役割

７月10日、のぎくプラザにて山武郡市議会議員研修会が開催され、地方議員研究会コンサルタント川本達志氏より、突然押し寄せる自然災害に地方公共団体や議会がどのように準備、対策、行動するべきか講演がありました。

当然、地方公共団体は「地域防災計画」を策定し、住民の生命・財産を災害から守るための対策を示しています。議員の役割はこれらに記載されていることが本当に準備できていて、実際に行動できるのかを問うていかなければなりません。また、情報（知識）不足で被災があってもなりません。

議員は防災の伝道師となり特に高齢者等には日頃の集会時から避難の重要性を訴えていき、コミュニティとの関係を築いておくことが大切で、発災時には情報収集に努め議会が一体となり災害対策本部と連携を図ることが重要とのお話がありました。これからも過去の経験や教訓を踏まえ自分ごとに捉えて防災意識を高く持っていきたいと思います。

デジタル議会に向けた研修会

4月23日にデジタル議会に向けた研修会を行いました。

八街未来都市視察

5月29日に町と屋形地区公有地周辺活用検討パートナーの覚書を締結している株式会社ユニマットプレシャスが開発を進めている「八街未来都市」を視察しました。現在、横芝海のこどもの国跡地周辺の有効活用に向けた検討が進められています。

議会を傍聴しませんか

9月定例会は、9月上旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができます。

なお、9月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

※なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和6年3月議会定例会までご覧いただけます。

≪傍聴席での主な注意事項≫

- 電子機器（携帯電話・カメラ・パソコン等）は使用できません。
- 録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- 飲食や喫煙はできません。
- 私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。

※HP議会会議録